

政策3-1 魅力ある農林業を確立する

目的 首都圏に位置する地理的優位性を最大限に発揮し、収益性が高く、産地間競争にも打ち勝つ農林業を確立するとともに、県内外の消費者に信頼される農産物や県産材を供給する。

現状と課題 本県の農林業は、全国有数の生産県として、生活の基礎となる食料や良質な木材を安定的に供給するという役割を果たすとともに、県土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成といった多面的機能を発揮しています。

一方で、担い手の高齢化と減少、経済のグローバル化を背景とした輸入農産物や外材の増加、産地間競争の激化、さらには安全・安心な農産物供給や地球環境への貢献の要請など、解決すべき課題も数多くあります。

本県農林業が今後とも持続的に発展していくためには、こうした新たな要請にも積極的に対応しつつ、活力ある担い手の確保や効率的な生産・流通体制の確立を図るなど、収益性の高い生産構造としていく必要があります。

目的実現に向けた取組の方向

- ・安全・安心な農産物の供給
- ・農業を支える生産・経営基盤の強化
- ・資源循環型農業の推進
- ・豊かな森林づくり
- ・活力ある林業の確立
- など

政策3-2 知恵と技術による商工サービス業の振興と地域雇用の安定を図る

目的 豊かな産業集積や知的財産などを活用し、創造性ある商工サービス業を一層振興するとともに、個人のキャリア形成などを通し、安定した雇用の確保を図る。

現状と課題 本県は、全国的に高い水準にある製造業の集積に加えて、商業・サービス業も着実な成長を遂げ、一人当たりの県民所得は、全国有数の水準を誇っています。

一方では、経済のグローバル化の進展等により、地域間や企業間の競争が激化しているほか、産業構造が変化する中、雇用のミスマッチや、フリーター等の若年労働力問題も顕在化しており、経済や雇用を取り巻く環境は、大きく変化してきています。

今後、これまでの県民生活を維持し、さらに向上させていくためには、知恵と技術の活用や多様な連携等による付加価値の高い新事業の創出や産業の育成、産業の担い手である、創造力とチャレンジ精神に満ちた豊かな人材の育成などが求められています。

目的実現に向けた取組の方向

- ・明日を拓く産業の創造と地域企業の振興
- ・地域に根ざした産業の振興
- ・産業基盤の整備と企業立地の促進
- ・地域雇用の安定と産業人材の育成
- など